

施設のレイアウト及び主要設備

施設のコンセプト

1. 腐食（塩害）に強いこと。
2. 省力化が図れること。
3. 作業性にすぐれていること。
4. やすらぎが得られること。

親魚棟



親魚棟内部

良質な卵を得るために、エサ・飼育方法等を改良しながら親魚を養成します。

餌料培養棟



餌料培養棟内部

ヒラメ仔魚の餌料となる動物プランクトン（シオミズツボワムシ、アルテミア幼生）を培養します。省力化機器としてナンノ・ワムシ濃縮装置、ワムシ自動計数装置を配備しています。



ナンノ濃縮装置



ワムシ濃縮装置



ワムシ自動計数装置



水産種苗研究所

稚魚飼育棟



稚魚棟内部

FRP円形水槽20面（75㎡/面）を使用し、ふ化した仔魚にシオミズツボワムシ、アルテミア幼生、配合飼料を与えて全長100mm種苗110万尾を生産、100万尾を放流、一部を大型種苗として養成します。配合飼料の給餌は、自動給餌器を使用する事により省力化を計り、又加温設備として14面にパネルヒーターを組んでいます。

稚魚運搬用トラック



トラック（活魚槽積載）

ヒラメ稚魚の放流時の運搬に使用し、水温設定機能・汚濁物質の除去・DO設定機能を有した活魚槽を積載しています。

施設配置図

